

求人マーケットの動向を知る 化粧品業界求人倍率レポート

Vol.2 2017年4月の求人マーケット動向

齋藤芽衣プロフィール

アットコスメキャリア編集長 2008年に株式会社アイスタイル入社後、会員登録者数26万人を超える化粧品業界専門の求人メディア「アットコスメキャリア」および化粧品業界専門の人材紹介サービス「化粧品人材バンク」の制作責任者として、化粧品メーカー300社、8000以上の求人広告の製作に関わる。その後、転職アドバイザーとして、化粧品業界の本社職や販売職への転職を希望する候補者約12000人のサポートを行っている。



化粧品業界最大の求人メディア「アットコスメキャリア」および人材紹介サービス「化粧品人材バンク」を利用する約30万人超の会員データをもとに、毎月、最新の求人マーケットの動向をお伝えします。

■「販売職」の求人マーケットの動向
2017年4月度の求人倍率は1.05倍と前月に比べて▲0.29倍となったが、それは新卒採用の活発化により各社中途採用活動を抑える傾向にあり、募集数が減少したことによって一時的な求人倍率の低下が見られる。また、売り手市場が続く中、候補者はより良い待遇の求人を探める傾向が強く、特に給与額が応募数に与える影響は大きくなってきている。

■「本社職」の求人マーケットの動向
2017年4月度の求人倍率は1.10倍と前月に比べて▲0.19ポイント。販売職では、夏に向けて売り手市場が加速する見通し。求職者の関心は待遇の良い求人へ集中。本社職では、百貨店営業の即戦力の採用が増加するも、求職者側ニーズとのギャップが顕著に。

■「本社職」の求人マーケットの動向
2017年4月度の求人倍率は1.10倍と前月に比べて▲0.19ポイント。販売職では、夏に向けて売り手市場が続く中、候補者はより良い待遇の求人を探める傾向が強く、特に給与額が応募数に与える影響は大きくなってきている。

■「本社職」の求人マーケットの動向
2017年4月度の求人倍率は1.10倍と前月に比べて▲0.19ポイント。販売職では、夏に向けて売り手市場が続く中、候補者はより良い待遇の求人を探める傾向が強く、特に給与額が応募数に与える影響は大きくなってきている。

■「本社職」の求人マーケットの動向
2017年4月度の求人倍率は1.10倍と前月に比べて▲0.19ポイント。販売職では、夏に向けて売り手市場が続く中、候補者はより良い待遇の求人を探める傾向が強く、特に給与額が応募数に与える影響は大きくなってきている。

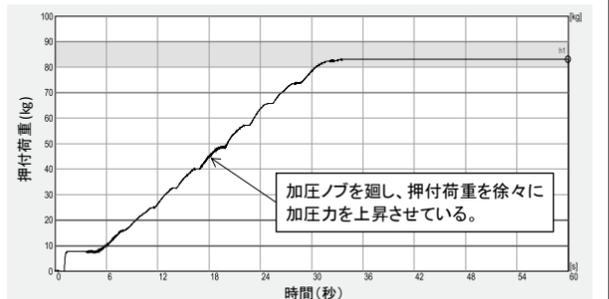
テクノイト TPシリーズ

容器の破裂リスクを大幅に軽減 溶着強度試験機に新機能を追加

化粧品・医薬品業界向け装置の開発設計・製造を行っているテクノイト(本社:東京都)はこのほど、チューブやパウチ容器のシール溶着の強度測定装置「TPシリーズ」に、高加圧タイプ「TP10」を開発するとともに、加圧状況をリアルタイムで確認しながら作業を行い、その測定数値をデータとして管理できるソフトを搭載した新機種を導入した。

チューブ・パウチ容器の溶着強度測定には、人々の親指で行う親指検査もあるが、作業者によってバラつきが生じ、積荷の高圧に耐えられず、中身が破裂してクレーム・回収になるケースは少なくない。そうしたクレーム・回収リスク軽減に向けて開

加圧力を徐々に上昇させ、チューブが受ける荷重変化のグラフ



品管理が求められる一般的な医薬品市場では、アルミチューブではなく、プラスチックチューブを採用する製品が増えてきている。そのため、容器の溶着強度評価に関して

同社にアドバイザーを求める企業もあるという。そうした傾向を踏まえて今回、シリーズ最上位モデルとして、100kg以上の高加圧条件で溶着強度を評価できる「TP10」を開発した。

測定データ管理ソフト付きの新機種は、過去のデータをPC上で再確認する。溶着機の溶着条件を管理し、生産時にすばやく条件設定でき、生産効率の向上につながる。また、容器の種類別にデ

ータ管理をすれば、顧客の製品毎に溶着強度の自己規格や溶着条件設定の作業標準を作成することも可能で、顧客満足度の向上につながる。

同社は、6月28日から30日まで東京ビッグサイトで開催される「インタ

ーフェックジャパン」に出展し、品質向上と顧客満足度向上を実現するチューブ・パウチ製品向け装置として「TPシリーズ」の展示・実演を行う予定だ。

石原美秀次期社長は1947年4月21日、香川県出身。1970年に同社へ入社したのち2000年に執行役員 経営企画部長就任を経て2004年に取締役就任。2008年に常務取締役就任したのち2010年6月から現職。同社株1万株を所有している。



石原美秀氏

オーミケンシ

新社長に

石原美秀専務が昇格

自社ブランド化をめ、新たな成長戦略推進化粧品「enary」に向けて社長交代を行うを展開しているオーミケンシ(本社:大阪)において、化粧品事業に関する大きな軌道修正はな社長に替わって石原美秀専務が6月29日付で新社長に就任すると発表した。同社は、2017年3月期第3四半期末までに四半期純損失11億8900万円(前年同期は四半期純損失3億5700万円)を記録した。同社は、2017年3月期第3四半期末までに四半期純損失11億8900万円(前年同期は四半期純損失3億5700万円)を記録した。同社は、2017年3月期第3四半期末までに四半期純損失11億8900万円(前年同期は四半期純損失3億5700万円)を記録した。

影響により一時的に募集が縮小したものと考

大型商業施設のオーブンが相次いだ4月は、オーガニックコスメやライフスタイル提案型ブランドなどをはじめとする振興ブランドの百貨店進出により、百貨店営業の新規採用が増加した。特に、若いブランドイメージに合わせた30代の若手で即戦力のオーダーが多かった。

一方、求職者側の転職ニーズでは、数社の就業経験を経てから化粧品品の百貨店営業を経験した40代以上が最も高く、採用する側とされる側のニーズにギャ